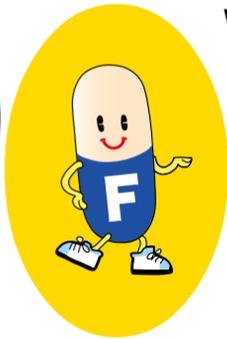


POWER!



2020年
11月
vol. 71

令和2年(2020年)
11月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

今年度初の全国会議

臨時評議員会開催される

令和2年9月24日、ホテルイースト21において令和2年度臨時評議員会が開催された。新型コロナウイルスの影響で、中止あるいは延期される全国会議が続く中、書面評決が可能ではあったが実参加の評議員もあり、マスキの着用、手指消毒の徹底、入場時の検温に加え、会場の換気対策を図っての開催となった。また、書面評決の評議員に対してYouTubeライブ配信が行われた。

会長からのお願い

定刻の13時に中原常任総務の司会で開会宣言が行われ、山本会長より「コロナ禍で神谷まさゆき副会長の活動に影響が出ており、誰も知らない神谷まさゆきをどう知らしめるか。本人の精進と共に評議員の皆様にもご協力いただきたい。」と挨拶があった。

薬剤師議員勢ぞろい

それに引続き、薬剤師国会議員である松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員、逢坂誠二衆議院議員、本田顕子参議院議員から国政報告を兼ねた挨拶があり、公務のため後から到着の、とかしきなおみ衆議院議員からも元気一杯の挨拶をいただいた。審議に入る前に、今

議長・副議長決定

期は議長・副議長を選出するため、司会者より仮議長として広島県の平井評議員が指名され、その進行を務めた。今回は議長候補者・副議長候補者がそれぞれ1名ずつであり、いずれも定数内のため、議長には北海道の金安評議

神谷まさゆき副会長登場

員、副議長には静岡県の明石評議員がそれぞれ選出された。以降は新議長・新副議長により議事が進行され、重要事項の経過報告として石井副会長より直近の政治課題の説明の後、報告第1号令和元年度会務並びに事業報告、議案第1号として荻野副会長より令和元年度収入支出決算報告、続いて高祖監事より会計監査報告が行われ、採決したところ賛成多数で原案どおり可決承認された。

休憩をはさみ協議では、冒頭に神谷まさゆき副会長から政治に対する熱い思いが語られ、厳しい状況下ではあるが、これからの活動に対して全国の協力、支援をいただきたいと訴えた。続いて、岩本幹事長より神谷まさゆき中央後援会活動の進捗状況と今後についての説明があり、「コロナの影響で後援会活動に支障が出ているが、年内には本人が47都道府県に訪問するか、もしくはWEBでご挨拶を行いたいので、その機会が得られるようご協力いただきたい。」とのお願いがあった。

名簿収集方法が変わる

また、新しい方法での支援者名簿収集活動について、大澤副会長より今回は支援者名簿の要となる紹介者を紹介者専用名簿でしっかりと募ってから、支援者名簿活動を行なう2段階の収集方法にしたいと説明があった。今までと集め方が違うため、多くの質問が寄せられた。最後に鳥海副会長から閉会の挨拶があり、臨時評議員会の幕が閉じられた。

風力計



日本薬剤師連盟
関東ブロック総務 内藤 貴夫

ブロック総務に就任して

令和2年度日本薬剤師連盟関東ブロックのブロック総務を担当させていただきますことになりました山梨県薬剤師会の内藤貴夫と申します。日本薬剤師連盟では、平成24年4月〜平成28年9月まで組織強化委員として仕事に携わらせていただきました。ブロック総務の役割は、日本薬剤師連盟とブロック内の県薬連との意思の疎通を正確に、スピーディーに進めていくことが最大の任務であると考えております。

具体的には、企画実行委員会については、組織内統一候補である神谷まさゆき副会長の政治活動支援の統一した行動を強力に進めていく為の方法と行動を日薬連と各県薬連が一体となって推進していくことです。一方、組織強化委員会は、選挙に向けた短期的な戦術と、選挙とは距離を置いた長期的な視点に立った組織強化の為の方策を示す必要があるのではないかと考えております。これらのことを含め、日薬連とブロック内の県薬連の連携と意思疎通を今まで以上に滑らかに・正確に・スピーディーに進行できるように全力で取り組んでいく所存です。

5月に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言解除後、感染防止を目的とした「新しい生活様式」が広がりをみせ、新型コロナウイルスと共存するという意味を示す「Withコロナ」時代が到来しています。このような状況下において、今後の行動の指針として今の現状でできること、そして次に行う行動形態をしっかりと区分けをして実行していきたいと考えております。

本田顕子参議院議員に続き、神谷まさゆき副会長を藤井基之参議院議員の後継者として、関東ブロックとして組織全体を挙げて支援をしていく所存であります。後共よろしくお願い致します。

かみや 神谷まさゆき副会長、日本薬剤師会学術大会会場であいさつ！

令和2年10月10日(土)～11日(日)に第53回日本薬剤師会学術大会が北海道札幌市で開催された。幸いにも台風14号はUターンし、北海道には接近しなかったものの、新型コロナウイルス禍中での開催となり、現地参加者約1600名、WEB参加者約4800名、計6400名ほどの参加者による、初めてのハイブリッド型学術大会となった。

本大会のメイン会場となった札幌市民交流プラザ5階札幌文化芸術劇場hitaru劇場で行われた式典では、松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員に続き、本田顕子参議院議員が紹介された。例年行われている懇親会では、組織内統一候補からの挨拶が行われているが、コロナ禍のため懇親会は中止された。

日本薬剤師連盟ブースは、札幌市民交流プラザ入り口の正面に設けた。ブースでは、神谷まさゆき挨拶動画を中心に上映した。パンフレット類の配布は、これもコロナ禍のために手渡しすることが出来ず、箱にパンフレット類を入れて企画実行委員会委員が手持ちで廻り、参加者に受け取ってもらう形で配布した。ブースには、新調した「ファーマ君」

が登場！そして、大型サイズ(914×1292mm)の布に印刷したポスターも掲げ、参加者の興味を引きつけた。多くの参加者が、スマホで神谷まさゆき副会長、ファーマ君及び大型ポスターと並び写真を撮影していた。コロナ禍でWEB挨拶も多いが、参加者からは、「やはり本人に会って話をし、支援する気持ちが高まった」という声も聞

かれた。Facebookでは毎日、メールマガジンは月1回第2木曜日に、ホームページにはFacebookのアーカイブも掲載している。未だ配信は始まっていないがLINEも配信準備をしているので、是非とも日本薬剤師連盟ホームページにアクセスして、受信の登録をお願いしたい。

2日目は、参加者が情報収集を目的に展示会場に来ることを期待して、ロイトン札幌の展示会場入り口で神谷まさゆき副会長が参加者に挨拶した。また、講演会場の出入り口では、講演時間を見て移動し、参加者に挨拶した。多くの参加者と会話し、支援をお願いし、そして名刺交換をして、札幌を後にした。



LINE公式
アカウント



Facebook



メールマガジン



ホームページ

かみや 神谷まさゆき副会長活動報告(4)

ウィズコロナ時代と呼ばれている状況の中で、神谷まさゆき副会長の都道府県訪問活動は、ウェブでの挨拶を含め順調に行われている。

8月末から10月中旬までに本人及び日薬連盟役員が訪問することができたのは、兵庫県(3か所での伝達講習会)、徳島県(役員会)、岡山県(保険薬局セミナー)、愛知県(女性薬剤師会研修会)、神奈川県(支部長・地域連盟会長会)、富山県(薬剤師連盟懇談会)、佐賀県(生涯学習研修会)、福岡県(医療安全セミナー)、栃木県(地域・職域薬剤師会)

協議会・連盟幹事会、高知県(連盟役員・支部役員・部会役員会議)、千葉県(支部長会議)であった。また、同期間においてウェブで挨拶ができたのは、福島県(地域薬剤師会連絡協議会)、島根県(役員会)、鳥取県(合同班長会)、山梨県(薬剤師会理事会)、京都府(支部長会)、岡山県(薬剤師会支部長会)、宮城県(通常総会)、石川県(会長・幹事長・支部長拡大会議)であった。また、可能な範囲で、地元支部等の研修会等でも挨拶の機会を得ている。



栃木県



千葉県



神奈川県



富山県



岡山県



高知県



徳島県



福岡県



佐賀県

かみや 神谷まさゆき 三つ折りパンフレットを作製!

イメージカラーである緑色を基調とし、政治信条等が記載されたパンフレットを作製した。会合等で活用していただきたい。また、LINE公式アカウントが開設された。



オモテ面



ウラ面

全国に先駆けて10月3日に「日本薬剤師連盟四国ブロック協議会」が高知県にて開催された。日本薬剤師連盟からは山本会長、岩本幹事長、神谷副会長、浜田副幹事長、安西ブロック総務が出席した。また公務多忙の中、藤井基之先生、本田顕子先生の両参議院議員が来高され、ご挨拶の中で薬剤師議員の必要性について語られた。特に藤井議員は後継者である「神谷まさゆき副会長へのバトンタッチに至る経緯を語られ、やっと勝ち取った参議院議員2名体制を維持する為に、四国ブロックが一丸となって支援してほしいと熱く語った。また、本会議の前には安西ブロック総務の招集で「組織強化担当役員四国ブロック会議」が開催され、四国ブロック担当の古川組織強化委員の進行のもと、地域の特性を踏まえた会員増強策について議論され、11月末までに各県で具体的に実行可能な行動計画を作成し活動をしていくことを誓い合った。さ



らに会議後には、高知県薬剤師連盟役員・支部長・部会長会が開催され、神谷まさゆき副会長が初めて高知県薬剤師連盟の皆様に直接挨拶させて頂いた。関係者の皆様、有難うございました。

つなごう! 藤井基之参議院議員から 神谷まさゆき副会長へ 四国ブロック協議会開催される

令和2年度 日薬連盟ブロック協議会 開催日程

2020年10月7日現在

開催日時	ブロック	開催形式	会場	参加対象都道府県
10月3日(土) 14:00~17:00	四国	集合	ザクラウンパレス 新阪急高知	徳島・香川・愛媛・高知
11月15日(日) 10:30~13:00	中国	集合・ウェブ併用	広島県薬剤師会館	鳥取・島根・岡山・広島・山口
11月28日(土) 14:00~16:30	関東 東京	ウェブ		茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川県・山梨・東京
11月28日(土) 14:00~16:00	東海	集合	都ホテル岐阜長良川	岐阜・静岡・愛知・三重
12月5日(土) 13:30~16:00	近畿 大阪	集合	ホテルグランヴィア京都	大阪・滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山
12月12日(土) 15:30~18:00	東北	集合・ウェブ併用	福島県薬剤師会館	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
1月30日(土) 15:30~17:30	九州	集合	セントヒル長崎	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
2月20日(土) 14:00~17:00	北海道	ウェブ		北海道
2月28日(日) 13:00~15:30	北陸信越	ウェブ		新潟・富山・石川・福井・長野



藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士
情報監視審査会会長・参議院議員 藤井基之



臨時国会召集

第203回臨時国会は10月26日に召集され、衆参の本会議において菅新総理の所信を聴取しました。

菅総理は、新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大を防止し、国民の命と健康を守り抜き、その上で社会経済活動を再開し、経済を回復させるとの強い意思を示しました。そして、ワクチンについて、安全性と有効性を最優先に、来年前半までに全ての国民に提供できる数量を確保することを表明しました。

政府は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の実施体制を整備するため、今国会に予防接種法改正法案を提出しました。法案では、当該感染症ワクチンについて臨時接種に関する特例を定めるとともに、ワクチンの製造販売業者等に生ずる損失を政府が補償することができることの規定が盛り込まれています。有効かつ安全なワクチンが供給され、1日も早い感染症の収束を期待したいと思います。

さて、私は今国会で参議院情報監視審査会の会長に任命されました。情報監視審査会は8名の委員で構成され、行政における特定秘密の保護に関する制度の運用を常時監視するため、特定秘密の指定・解除及び適正評価の実施状況を調査し、議院等からの特定秘密の提出要求に係る行政機関の長の判断の適否等を審査することを任務としています。

情報監視審査会において取り扱う情報は、特定秘密保護法に規定する防衛、外交等、日本の安全保障に関する事項のうち特に秘匿を要するものであることから、審査会委員は知り得た特定秘密等を漏らさないことの宣誓を行います。審査会長として、適正な国会運営に尽力して参ります。



オレンジ日記

自民党 厚生労働部会副部会長
参議院議員・薬剤師 本田顕子



女性の健康と活躍推進

自民党の組織の中に、女性局(局長:吉川ゆうみ参議院議員)という組織があり、私は菅新総理のもとで引き続き女性局次長を務めることとなりました。女性局は、女性ならではの視点で政治や政策を考え、その実現のために行動する組織です。全国各地で女性向けの勉強会や対話集会を行い、女性の皆さんのご意見を頂戴し議論を重ねる活動をしています。11月2日には九州ブロック会議が熊本で開催され私も参加し、活発な議論が展開されました。

女性局の活動の一つが、女性の健康支援のための法的基盤を築くことです。平成26年及び平成28年の2度にわたって「女性の健康の包括的支援に関する法律案」を国会に提出しましたが、成立には至りませんでした。その後、法案の充実に向けて検討を行い、「健康活力社会の形成の促進のための女性の健康の包括的支援に関する法律骨子案」をまとめ、これを踏まえ、政府において速やかに法案を立案し国会に提出するよう関係方面に要望をしています。骨子案によると、女性の健康の包括的支援に関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明確にし、3月3日から9日までを期間とする「女性の健康週間」の設定、支援のための具体的な施策等を規定することとしています。具体的な施策には、女性の心身の特性に応じた医療の確保、健康増進情報の提供体制・相談体制の整備、関係団体との連携強化が含まれています。

また、自民党の政策調査会のもとに女性活躍推進特別委員会が設けられ、私は事務局次長を拝命しています。この特別委員会に「女性の健康・子育てWG」が設けられ、私もメンバーに加わっています。

女性局と女性活躍推進特別委員会での活動を通じて、上記の法律の制定に向け努力できればと思っています。

かみや 神谷まさゆき 物語

〜第3回〜



高校時代、大学進学を薬学部に絞っていた私は、ある日担任教師から福山大学薬学部の受験を勧められました。複数の先輩が進学していたため大学の雰囲気



中国地方の様々なところへ友人たちと行きました(本人:左)

太平洋とはまた違った美しい瀬戸内海が広がっている点です。車やバイクが好きな学友の影響を受

合っていると判断されたこと、当時国家試験合格率高かったことがその理由でした。そして、実際に福山の地へ足を運んで、先輩方の気持ちがとても良く分かりました。福山市は広島県の東部県境近くにある中核都市です。私の出身地である豊橋市も愛知県の東部県境近くにあり、規模も雰囲気もとても良く似ていました。自然と居心地の良さを感じたのです。そんな福山市と豊橋市の違いの一つが、

また、その延長線上でガソリンスタンドのアルバイトをしたこともあり、当時は冬場になると「ガソリン水抜き剤」という商品が販売していたのですが、真面目にコツコツ一人でも多くの方に紹介するをモットーに「分かりやすく短時間で説明」を心掛けた私は、販売期間の中頃には店舗で一番の本数を売り上げました。しかし、所長に褒められて喜んだのも束の間、正社員の先輩から「そろそろ本気を

けた私は、アルバイトで貯めたお金で買った中古車でドライブをして、瀬の浦や尾道など風光明媚な景色を楽しむようになりました。当時は地図を片手に計画を練ったり、どんなところだろうと想像を膨らませることがとても好きでした。「目的地とルートを決めてそこまでの道程を乗りこむ」、そんな姿勢は現在でも大切にしています。



学園祭の時の一コマ。薬学部の焼きそば屋台は美味しさと大人気でした(本人:右)

表をしてい るのだから、もっと多くの人に見てもらいたい。はできないものだろうかと考えた。

出ず」と宣言されてから、あつという間に大差の販売本数で抜かれてしまいました。この時、社会の先輩の凄さをまざまざと見せつけられた気がしました。その際の数字への拘りは、後に薬学部学園祭実行委員として発揮されることになりました。当時「運営グループ」という組織で、集客のための会場設営や体力測定実施、焼きそば屋台等を担当していました。その際、「薬学部はせっかく良い内容の発



貴重な茶髪時代の写真です(笑)(本人:前段右)

めたことは、生涯の友人や学年を越えたつながりを得ることにもなり、後の人生の宝物になりました。

そこで友人たちと知恵を絞って、目標来場者数を決めて、人の流れを考えて駐車場への大看板設置など効果的な広告を心掛けました。結果として、その年は過去最高の来場者数を達成することができました。もちろんグループの打ち上げがものすごく盛り上がったのは言うまでもありません。この「目標数を達成する」という経験から、営業職への関心を持つことになりました。そして、この学園祭実行委員を務

編集後記

未曾有の震災から程なく十年が過ぎようとしており、東北の太平洋沿岸にある拙宅付近の風景も大きく変わった。たわわに実った稲穂越しに見る蔵王連峰が気に入って転居したが、津波によって担い手を失った田園地帯には復興住宅が建ち並び、防災を兼ねた貯水池付きの緑地公園が造成され、豊かな水田は見る影もない。自宅隣接の緑地公園という聞こえは良いが、美しく整地された遊歩道には畦道の風情は欠片も無く、日課だった朝の散歩もさぼりがちになった。貯水池は稲作に欠かせなかった農業用水も流れ込まず淀み、藻と油に覆われた水面は鈍い光を放つて、炎天の臭気と生態系を失ったほうふらの発生による蚊の大群には毎年のように閉口した。

コロナ禍による運動不足を解消するため早朝から愛犬との散歩を再開したが、昨年の冬から夏を過ぎた頃、貯水池に小さな変化が生じている事に気付いた。マガモの飛来である。実際は数年前から来ていてこちらが気に留めなかっただけなのかもしれないが、静寂を破る大きな水音に愛犬が吠え、遊歩道越しに見ればマガモは七十羽を優に超える群れとなっていた。各々が水中に潜って餌を探し、気まぐれに数羽が飛び立ち、悠々と波紋を描いて泳ぎ、実に勝手気ままに日々を謳歌している。攪拌された池の水は水質を変え、臭気も減り、水際の野草はその色を変えた。夜半に時折響く鳥の声も、その貢献を踏まえれば然程気にもならなくなった。コロナ禍と貯水池を並べ論じる事は医療の担い手として甚だ不謹慎かもしれないが、日々の感染対策に疲弊した昨今、人事を尽くした後に何らかの気まぐれな自然摂理が働いて、ひと時の収束が訪れることを密かに願って止まない。

広報委員

- 鳥海 良寛、石井 甲一、大澤 泰輔、丹羽 松弘、橋本 昌子、加茂 雅行、栗原 健、渡邊美知子